

1. TIN(.txt)の輪郭線

メニュー「砂防基盤地図/TIN(.txt)の輪郭線作成」に kml・kmz 作成を追加しました。



平面直角座標系番号

輪郭線を kml・kmz に保存する場合に、平面直角座標系から緯度経度への変換で参照します。

TIN(.txt)別の範囲確認用 kml・kmz ファイル(出力ファイル)

TIN(.txt)ファイルの輪郭線の確認用に kml・kmz ファイルを保存します。

2. ネットワークチェック

メニュー「チェック 1/ネットワークチェック」に「端点」を追加しました。



端点

ネットワークの端点をリストアップします。

真幅道路と庭園路などの接続を確認するための機能です。

コード	2D要素数	3D要素数	名称
2101	0	1208	真幅道路(街区線)
2103	0	11	徒歩道
2106	0	36	庭園路等
2203	0	129	道路橋(高架部)
2213	0	184	歩道
2214	0	419	石段
2219	0	2	道路のトンネル
2226	3	63	分離帯

閉じる すべて選択 すべて解除

このチェックでは、選択された地物全体が構成するネットワークについて調べます（分類コード別ではありません）
開いている DM の図郭全体の外周線上の端点は除外します。

図形区分は 0 のみ

上記の「端点」で、ネットワークを構成する地物を図形区分=0 のみに限定します。ON の場合、図形区分=99 の表現補助データなどはネットワークの構成対象外になります。

3. 始終点座標一致チェック

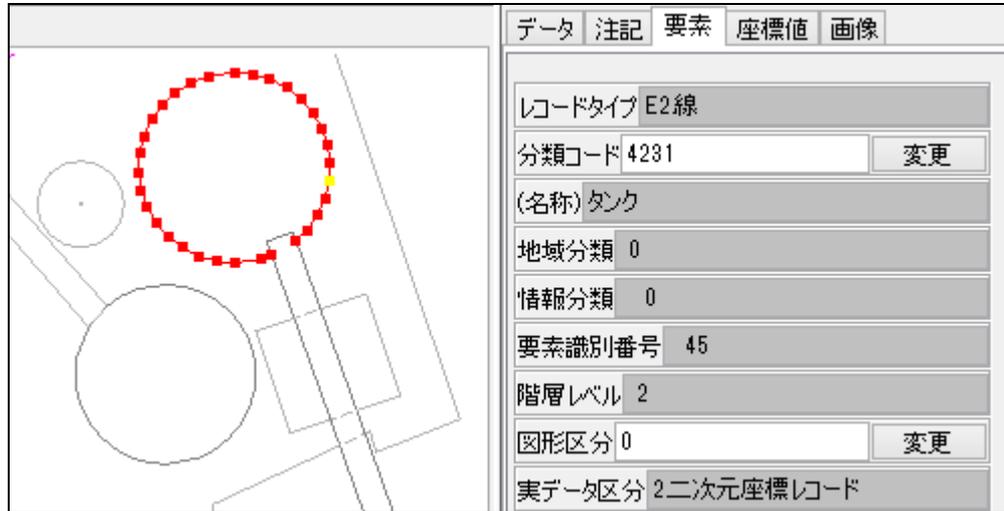
メニュー「チェック 2/始終点座標一致チェック」に「端点が、分類コードが異なる他の要素上にある場合は対象外」を追加しました。

対象	
<input checked="" type="radio"/> データ取得基準で始終点座標一致(建物も含む)	
<input type="radio"/> データ取得基準で始終点座標一致(建物以外)	
<input type="radio"/> 分類コードで指定	分類コード選択...
<input checked="" type="checkbox"/> 射影部の上端・下端は対象外	
<input checked="" type="checkbox"/> 表現補助データは対象外	
チェック	
<input type="checkbox"/> リストアップ	
<input checked="" type="checkbox"/> 始終点座標が一致していない面(E1)と線(E2)	
<input checked="" type="checkbox"/> 端点が、同一分類コードの他の要素上にある場合は対象外	
<input checked="" type="checkbox"/> 端点が、分類コードが異なる他の要素上にある場合は対象外	
<input type="checkbox"/> 始終点座標が一致している線(E2)	
<input checked="" type="checkbox"/> 面(E1)に変更する	
OKリストCSV	
<input type="text"/>	指定...
OK	キャンセル
設定を保存	設定を開く
ヘルプ	

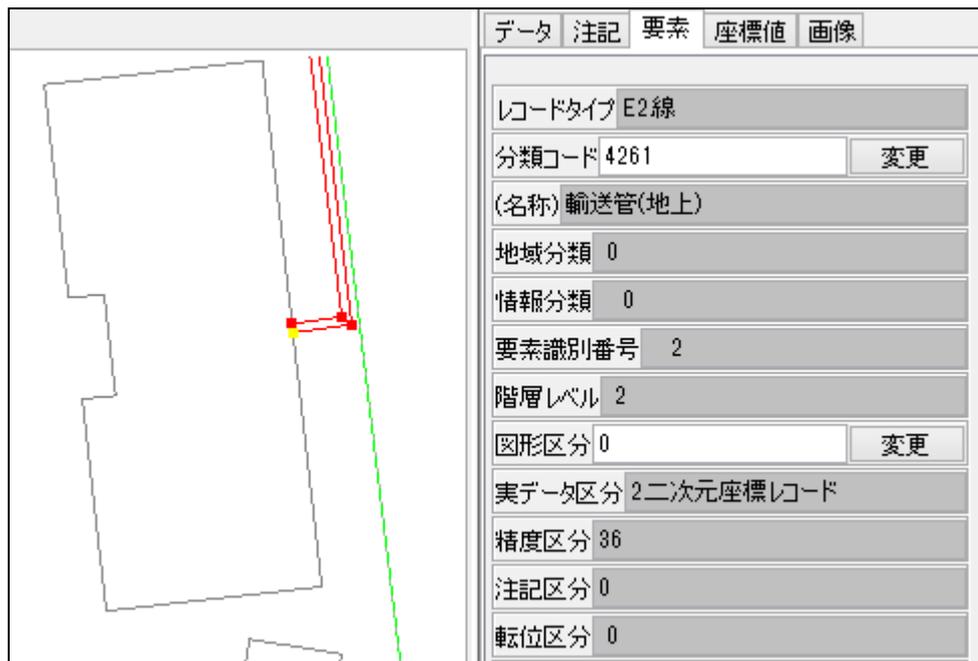
端点が、分類コードが異なる他の要素状にある場合は対象外

特殊なケースをリストアップの対象外とします。

- ① タンク(4231)の線の端点が、輸送管(地上)(4261)、輸送管(空間)(4262)に接している場合



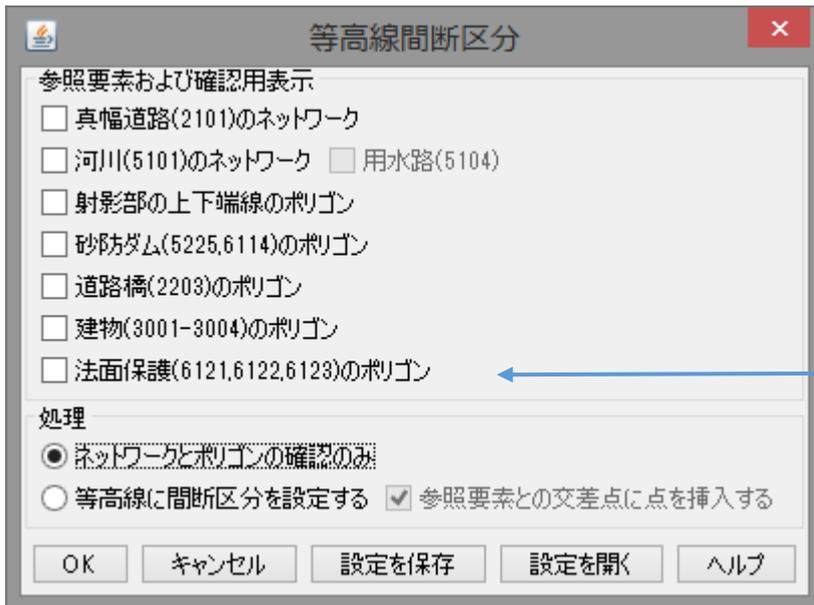
- ② 輸送管(地上)(4261)、輸送管(空間)(4262)の端点が、普通建物(3001) 堅ろう建物(3002)に接している場合



その他のケースがあれば、お知らせ下さい。

4. 等高線間断区分

メニュー「一括処理／等高線間断区分」に法面保護を追加しました。



法面保護(網)=6121、法面保護(モルタル)=6122、法面保護(コンクリート柵)=6121 について、閉じた形状になっている場合、内側をポリゴンとします。但し、図郭の線上で切れている場合、図郭の線に沿ってポリゴンとします。